小田原市報
第79号
発行所 小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人 浦 寅松
定価 一部 三円

市議会九月臨時会

教育委員の選任など 二十四件を審議

市議会九月臨時会は、九月二十六二十八日の両日にわたつて開催され、教育委員の選任、昭和三十一年度一般会計及び特別会計の追加更正予算など二十四の議案（別掲参照）が提案され、鈴木市長からそれぞれ提案理由の説明があつた後、いずれも原案の通り可決されました。

なお、日程第一日において井上議員からさきに逝去された収入役黒柳辰次郎氏の功績に対して感謝決議を行いたい旨の緊急動議が提出され、全員の賛成により可決されました。

今回議決された主なる議案内容は次の通りであります。

◇教育委員の選任について
十月一日から全面的施行となつた「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」によつて、従来公選であつた教育委員は、地方公共団体の長が議会の同意を得て任命することになつたため提案されたもので別項の五氏を新教育委員に選任することに同意されました。

◇監査委員の選任について
監査委員田辺一雄氏の辞任に伴い後任者として元収入役葛屋三喜雄氏を選任することにつき同意されました。

◇固定資産評価審査委員会委員の選任について
葛屋三喜雄氏の辞任に伴い後任者として小田原商工会議所専務理事宮坂寛次郎氏を選任することにつき同意されました。

◇小田原市農業委員会委員の推せんについて
小田原市農業委員会の選挙による委員は条例により十五名と定められておりますが、これらの選挙による委員のほか選任による委員については、農業委員会等に関する法律第十二条第一項の規定にもとづき学識経験者を議会において推せんすることになつているため提案されたもので、田島政次、石綿源治両議員が推せんされました。

◇市道路線の認定について
市内稲山二、〇五八番地先から同二、五七九ノ三番地先までの県道東稲山線（延長一、〇二六米）及び市内穴部五三七ノ一番地先から市内府川三二〇番地先までの県道穴部坂線（延長八五五米）が県から移管されたので今回市道として議会の認定を求めたものです。

◇昭和三十一年度小田原市歳入歳出追加更正予算（一般会計、追加議案を含む）
地方自治法の改正に伴う給与費の是正及び公共事業の認証を得た公営住宅建設費、小田原漁港修築費その他当面緊急を要する事業費並びに補助金、交付金の一部組替、旧曽我村の退隠料等職員積立金収入などを含む総額五千八百九十一万七千三百十二円の追加更正予算で明細は別掲の通りです。

◇昭和三十一年度小田原市水道事業費歳入歳出追加更正予算（特別会計）
本予算は、上水道拡張工事費一千万円を追加したほかは給与費関係の更正を行つたものでありますが、うち上水道拡張工事費は、国府津地区内親木橋から橋町堺に至る延長一、四四七米の国府津配水管及び酒匂、国府津両地区の補助管二、九八三米並びに小峰トンネル入口から青橋交番に至る所謂国安道路の配水管布設のため追加されたものでこれにより酒匂、国府津両地区への給水が実現されるほか、国安道路配水管布設に伴い給水系統の切替によつて城山、谷津両高台地区の水圧が増加されることになります。

◇収入役の選任について
収入役黒柳辰次郎氏の逝去に伴い後任者として経理課長野沢保次郎氏を選任することにつき同意されました。

提出案件

- 議案95 昭和三十一年度小田原市歳入歳出追加更正予算
- 議案96 昭和三十一年度小田原市競輪事業費歳入歳出追加更正予算
- 議案97 昭和三十一年度小田原市水道事業費歳入歳出追加更正予算
- 議案98 昭和三十一年度小田原市公益質屋事業費歳出更正予算
- 議案99 昭和三十一年度小田原市国民健康保険事業費歳入歳出追加更正予算
- 議案100 昭和三十一年度小田原市国民健康保険直営診療施設事業費歳入歳出追加予算
- 議案101 起債について（漁港）
- 議案102 起債について（住宅）
- 議案103 起債の取消について（街路舗装）
- 議案104 起債の取消について（伝染病隔離病舎）
- 議案105 起債条件の変更について（上水道）
- 議案106 一時借入金の変更について（水道会計）
- 議案107 工事請負契約の締結について
- 議案108 市道路線の認定について
- 議案109 諮問答申について
- 議案110 小田原市大井町小学校組合規約の一部を改正する規約
- 議案111 大井町小田原市中学校組合規約の一部を改正する規約
- 議案112 昭和三十一年度小田原市歳入歳出追加更正予算（追加）
- 議案113 小田原市職員退隠料等条例の一部を改正する条例（追加）
- 諮問2 小田原市農業委員会委員の推薦について
- 諮問3 教育委員の選任について
- 諮問4 監査委員の選任について
- 諮問5 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 諮問6 収入役の選任について（追加）

収入役 黒柳辰次郎氏逝去

地方自治行政に生涯を捧げて

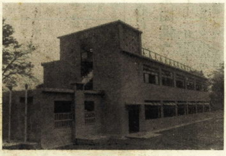
在りし日の黒柳氏

本市収入役黒柳辰次郎氏はさる四月中旬以来、胃癌のため療養中でありましたがさる九月二十四日午前七時二十分逝去されました。告別式は、原助役が葬儀委員長となり、二十七日午後一時から市内荻窪の安楽寺において鈴木市長、山橋議長など関係者多数列席のもとに盛大にとり行われました。

故人は、明治二十八年真鶴町に生れ、大正十年九月小田原町書記に任ぜられ、昭和十四年九月小田原町庶務課長となり、同十五年十二月以来小田原市庶務、産業、総務の各課長を歴任し、同二十年九月総務部長に昇格、同二十二年七月小田原市理事に任ぜられ建設部長を兼務、同三十年十二月小田原市収入役に選任せられ、この間実に三十五年の長きにわたり職務に尽瘁せられ、本市今日の発展に大きな功績を残されました。特に、戦後における地方財政の危機に際し、本市の財政運営にその手腕をふるわれたほか、町村合併等の重要な市政に参画し今日の小田原市の基礎をつくられ又よく後進の指導に意を用いられたのでその徳を慕うもの多く、同氏の死は各方面から深く惜しまれております。なお、市議会ではさきに開催された九月臨時会において、同氏の生前の功績に対し感謝決議を行いました。

近代的校舎が完成

白山中学校増改築工事



市立白山中学校の北側校舎は老朽のため、かねてより増改築中でありましたがこの程完成し、さる九月二十六日落成式が行われました。この建物は市内で始めて建設された鉄筋コンクリート造りの近代的校舎であります。なお工事概要は次の通りです。

（工事概要）
校舎 鉄筋コンクリート造二階建一部平屋建屋階付、建坪一階一〇四坪二二五、二階八九坪七三五屋階八坪〇八
延坪二〇二坪〇三
工事費九百十六万円（うち地元寄付金は二百二十万円）

〔写真は完成した白山中学校校舎全景〕

小田原市農業委員会発足す

各支所及び足柄、富水、久野の旧地区に技術職員を配置

去る九月一日、新たに全市を一区域とする農業委員会が設置されましたが、農業委員の一般選挙は、九月二十五日執行され、無競争で十五名が当選し、また九月二十八日には農業団体及び市議会推せんによる委員もそれぞれ二名ずつ選任されました。

そこで第一回農業委員会本会議を十月三日市役所議場で開催し、会長選挙、職務執行規則などを審議いたしましたが、会長には山口武利氏が、会長代理には浜野泉吉氏が、代表者会議委員には長谷川実氏を推すことに決定しました。

事務局は市役所内に置かれこの事務局で農地調整業務に従事する専任事務職員は六名でありますが、各支所並びに足柄、富水、久野の旧地区の農協に、勧業的業務に従事する専任の技術職員、又は事務職員をそれぞれ一名ずつ配置いたしました。

事務局長は農林水産課長が兼務いたしますが、農業委員会と市農林水産課及び各支所間との連けいを強め、より一層農業行政及び農地行政の円滑を図るため、各支所長及び農林水産課の一部課員が農業委員会職員に、農業委員会職員は全員市職員にそれぞれ兼務を命ぜられました。

しかしこの広い地域から少い委員が選出されておりますので、委員の職務の負担を軽くするため、つとめて職員を現地に派遣し、実情調査などに当らせる外、更に各地区の事情にくわしい農業嘱託員の御協力を得て円滑な運営をはかるわけであります。

なお、選任及び選挙による委員は次の通りです。（議席順敬称略）

◇委員（◉会長、〇会長代理）
石綿源治（議会推薦）奥津長一郎（農業共済組合推薦）◉山口武利（早川）小島鈴太郎（田島）米山要助（曽比）田島政次（議会推薦）矢子市郎（根府川）西山輝夫（農協推薦）長谷川実（曽我谷津）津田峯（風祭）杉山兵之輔（下新田）高橋幸平（荻窪）〇浜野泉吉（久野）大木米吉（井細田）小沢治平（下大井）山崎保平（飯田岡）波多野徳平（永塚）小泉治平（飯泉）内田伊佐夫（小八幡）

以上十九名でありますが、県農業会議員は、十月十七日開催の小田原、足柄下地区代表者会議において当市代表者の長谷川実氏（下曽我）にきまりました。

新教育委員決まる

教育長には関野氏が再任

新教育委員の選任については、別項の通り議会の同意を得て田辺一雄、尾崎一雄、戸田四郎平、関野惣平、小島峯吉の五氏が決定したので、さる十月一日それぞれ市長から任命されました。

委員の任期は田辺、小島両委員が四年、戸田委員が三年、尾崎委員が二年、関野委員が一年となつております。

引続いて第一回教育委員会会議が午前十時から市議会議場で開かれ委員の互選により委員長には田辺委員が、同職務代理者には戸田委員が選ばれ、また教育長には関野委員が選任され、同職務代理者には教育委員会の岩瀬総務課長が任命されました。

なお、各委員の略歴は次の通りです。

◇田辺一雄（六十四歳）
市内十字三ノ七二九、早稲田大学理工科卒、自然療養社社長（大正十二年から現在）小田原市公安委員並びに委員長（昭和二十三年から同二十九年）小田原市監査委員（昭和三十年七月から同三十一年九月）

◇尾崎一雄（五十六歳）
市内曽我谷津四一四、早稲田大学文学部国文科卒、作家、小田原市図書館協議会委員（昭和三十一年三月から現在）

◇戸田四郎平（六十一歳）
市内万年四ノ五六二、金沢医学専門学校医学科卒、慶応義塾大学医学部外科教室助手（大正十一年から昭和四年）医学博士（慶応大学、昭和四年）戸田外科病院長（昭和五年から現在）小田原女子学院講師（昭和三十年から現在）

◇関野惣平（六十一歳）
足柄上郡南足柄町関本九〇二、明治大学商科専門部卒、営口、逗陽商業学校長（昭和六年から同十六年）藤沢市教育課長、民生部長（昭和十六年から同二十三年）小田原市教育課長（昭和二十三年から同二十七年）小田原市教育委員会総務課長（昭和二十七年から同二十八年）同教育長（昭和二十八年四月から同三十一年九月）

◇小島峯吉（六十歳）
市内緑一ノ六七、神奈川県師範学校卒、小田原市新玉小学校長（昭和二十七年五月から同三十一年八月）

市税

年末に滞納を整理

10月15日～12月22日

市では、九月末現在で二千二百五十八万四千六百三十五円に達する市税の滞納を解消するため例年の通りすでに十月十五日から十二月二十二日までの間を年末市税滞納整理強化期間として滞納整理を実施しております。

市勢の発展や市民生活の向上のために市が行うあらゆる事業の財源となるものは市税であり、この市税が各納期内に円滑に納入されることによつて市の計画する事業はより一層推進されることになりますので、納税者各位の御理解と御協力によつて是非ともこの整理期間に滞納を解消したいものであります。

未だ税金を納めていない方のうちには、いろいろと御事情がある方もあろうかと存じますが、この際一日も早く納めて下さるようお願いいたします。

なお、市では市税の自主的な納期内納税の最も効果的な方法として納税貯蓄組合の設立と新規加入を奨励しておりますので未加入の方は是非とも地区納税貯蓄組合に加入されますようおすすめいたします。また未設置の地区においても速かに組合を結成されますようお願いいたします。

追加更正予算の概要（31.9.28議決 一般会計）

歳入の部		58.917.312
◇市税	固定資産税、固定資産所在市町村交付金及び納付金	8.7000.000
◇公営企業及び財産収入	競輪事業益金繰入	18.000.000
◇国庫支出金	公営住宅建設費、防火貯水槽建設費、給食施設費及び設備費等、その他	6.243.085
◇県支出金	林道開設事業費、小団地開発整備事業費、種苗放養事業費新農山漁村建設事業費補助金及び漁港用地買収費交付金	11.368.000
◇寄付金	耕土培養事業費、林道開設事業費、種苗放養事業費、二級国道改良費等寄付金	3.670.000
◇雑収入	過年度分災害土木費国庫負担金、商工名鑑広告料及び退隠料等積立金（旧曽我村分）引継分等	936.227
◇市債	県営小田原漁港修築負担金債、公営住宅建設債	10.000.000
歳出の部		58.917.312
◇議会費		375.171
◇市役所費	配置替による給与費の増、死亡給与費及び庁舎修築工事費	5.645.042
◇消防費	足柄分署用地購入費、防火水槽新設工事費、川東分署公舎移築費、その他	4.223.656
◇土木費	早川沿岸漁港用地区画整理事業、県道改修費負担金及び小田原漁港修築負担金、その他	21.700.000
◇教育費	酒匂小、中学校給水工事費、千代及び片浦両小学校給食場附帯施設工事費、荻窪及び堀之内地区公民館建設資材費、学校図書及び理科教育用備品購入費、その他	1.706.613
◇社会及び労働施設費	公営住宅建設費、その他	10.782.372
◇保健衛生費		21.610
◇産業経済費	屎尿貯留槽建設費、風祭外17線農道改良工事費、穴部線外5線かんがい用排水路改良工事費、日向林道開設工事費、酒匂川左岸改良区及び小団地開発整備事業費、耕土培養事業費増額、小田原東部地域農山漁村振興事業費、その他	12.144.575
◇観光費	お堀端石垣積補修工事費、その他	199.842
◇財産費	退隠料等職員積立金（旧曽我村分）	545.842
◇選挙費		2.167
◇諸支出金	諸税還付金、その他	1.300.719
◇予備費		269.703

前回までの累計額	今回追加更正額	合計
709.329.347	58.917.312	768.246.659

『新しい村づくり』の特別助成事業決る

東部地域農山漁村振興協議会では、昭和三十一年度から三十五年度にわたる事業計画をたて、同地域の農林漁業の振興を図ることになりました。

この事業計画の概要については前号でお知らせいたしましたが、事業計画のうち、特別助成の対象となる事業の細目は次のとおりであります。

なお国庫補助は、この事業費の約五割であります。

補助単独事業

◇共同貯水槽建設事業
○事業主体　下曽我農協
第一年度　十九立方米　十箇　六十万円、第二年度　十九立方米　十箇　六十万円
○事業主体　田島農協
第一年度　十九立方米　十一箇　六十六万円

◇簡易索道施設事業
○事業主体　国府津農協
第一年度三〇〇米　三十万円
○事業主体　下曽我農協
第一年度三〇〇米　三十万円

◇水田裏作推進モデル施設事業
○事業主体　豊川農協
第一年度　動力耕耘機一台　三十万円
○事業主体　上府中農協
第一年度動力耕耘機一台　三十万円

◇農事放送施設事業
○事業主体　下府中農協
第一年度　九十万八千四百円
○事業主体　上府中農協
第一年度　百十二万九千円
○事業主体　酒匂農協
第一年度　四十七万六千円
○事業主体　曽我農協
第一年度　三百十一万七千円
○事業主体　豊川農協
第二年度　百五十万円

◇水稲早植栽培施設事業
○事業主体　国府津農協
第二年度　二〇〇反　四万六千円

◇共同集荷場建設事業
○事業主体　下曽我農協
第一年度　建坪三十坪ほか衡器　六十八万五千円
○事業主体　下府中農協
第二年度　建坪二〇坪ほか衡器　四十六万円

◇農機具修理施設事業
○事業主体　上府中農協
第二年度　建坪二〇坪ほか修理施設　七十万円

◇共同貯蔵所建設事業
○事業主体　下曽我農協
第二年度　建坪二〇坪　五十万円

◇漁業用超短波無線施設事業
○事業主体　酒匂、国府津漁協
第一年度　一局　八十五万円

◇船揚場建設事業
○事業主体　酒匂、国府津漁協
第二年度　一カ所百三十万円
○事業主体　小田原市（酒匂、国府津地区）
第二年度　四カ所　百四十万円

◇総工事費
第一年度　九百六十二万五千四百円
第二年度　五百九十万六千円

☆文化の日を中心に☆ 市民文化祭開催さる
十月二十七日～十一月二十六日

恒例の小田原市民文化祭は本年第三回を迎え市並びに市教育委員会の共催により、来る十月二十七日から十一月二十六日までの約一カ月間にわたり中央公民館、郷土文化館などを会場として開催されます。

この行事は、市民文化の高揚をはかるため、十一月三日の文化の日を中心にして文学、美術、演劇、映画、音楽等多彩な文化行事が開催されますので、市民の皆さま多数の御参集を望んでおります。

なお文化祭に先立つて、本年は十月二十日が二宮尊徳先生没後満百年忌に当りますので、この日市内栢山の尊徳記念会館で尊徳祭が地元の子供会、青年団、婦人会などの参加により盛大に行われました。文化祭開催日程は次の通りでありますが、詳細については市教育委員会社会教育課へお問合せ下さい。

日程

◇小田原吹奏楽大会
十月二十七日（午後一時）　中央公民館
◇小田原箱根浮世絵展
十一月一日～五日（午前九時～午後五時）　郷土文化館
◇市民合唱大会並びに独唱会
十一月三日（文化の日午後一時）　中央公民館
◇市民菊花展覧会
十一月三日～十四日　中央公民館
◇紙芝居絵ばなしコンクール
（午後一時）
◇小田原よいとこ発表会
（午後六時）
十一月四日　中央公民館
◇市民俳句大会
十一月四日　中央公民館分室
◇教育映画祭
十一月十日（午後一時）　本町小学校
◇市民並びに学校演劇大会
十一月十八日（午後一時及び午後六時）　中央公民館
◇西湘美術展覧会
十一月二十日～二十三日（午前九時～午後六時）（勤労感謝の日）　中央公民館
◇市民短歌大会
十一月二十三日（午後一時）　中央公民館分室
◇学生美術展覧会
十一月二十四日～二十六日（午前九時～午後六時）　中央公民館

戦没者合同慰霊祭を執行

市並びに小田原市遺族会の共催による戦没者合同慰霊祭は、明治以降戦に赴き国難に殉じた本市関係軍人軍属二、四二五柱の霊位を慰めるため、さる十月十六日御幸座において挙行せられました。

慰霊祭は会場の都合によつて本年も午前と午後の二回にわたつて行われましたが幸い秋晴れの好天に恵まれ、遺族来賓及び関係者多数の参列を得て極めて厳粛のうちにとり行われました。

式は、小田原市連合寺院団奉仕の法要にはじまり鈴木市長、山橋議長及び酒井遺族会長の祭詞に続いて県知事（代理川久保県社会福祉課長）県議会議長（代理山口県議）、佐藤県遺族会長など来賓の弔詞があり、参列者全員の焼香があつて終了し、引続いて遺族慰安の演芸会が行われました。

なお、当日遺族の方々には真鍮製の香炉と市紋章型の供物がそれぞれ贈られました。

〔写真（上）は市長の祭詞（下）は遺族の焼香〕

畜産共進会延期についてお知らせ

十月五日、六日城址水の公園で開催する予定でありました畜産共進会は、市内に牛の流行性感冒が発生いたしましたので、止むを得ず三月上旬に延期することになりました。

警察広報板

押売防止の県条例

押売りの話は常に市民の皆さんの話題となつておりますが、小田原市内では本年に入つてすでに六人の押売りが検挙されております。警察への届が早ければもつと多くつかまえることができます。

押売の横行は全国的なもので家庭を預る奥さん方にとつては大きな恐怖となつております。

このため県では、十月一日から全国にさきがけて押売等予防条例を設け、押売りを防止して県民の皆さまの日常生活を守ることになりましたので、次の条例をよく御覧の上押売一掃に御協力下さい。

押売等予防条例

（目的）
第一条　この条例は、押売等の行為を防止し、県民生活の安全を確保することを目的とする。

（定義）
第二条　この条例で押売等とは、行商をするに当り次の各号の一に該当する行為をいう。
一、購買又は売却を拒否されたにもかかわらず、すみやかに退去しないこと。
二、承諾がないにもかかわらず玄関等に販売する物品を展示し又はすわり込むこと。
三、購買又は売却を拒否した者もしくはその家族又はその住居、建造物、器物等に悪戯をすること。
四、著しく粗野又は乱暴な言動で迷惑をかけること。
五、い怖、困惑もしくはけんおの念を抱かせ又は誤解させるような言動をすること。

（罰則）
第三条　押売等をした者は、一万円以下の罰金又は拘留に処する。

これから増える空巣ねらい

毎年秋になるときまつたように空巣ねらいが増加してまいります。

昨年県内には四、二五二件の空巣があり、一日に十二戸が被害にかかつているわけであります。

小田原市内では、本年一月から六月までに三十八件の空巣の被害があり、うち二十八件が検挙されましたが、農繁期、行楽期をひかえて空巣はますます多くなりますので戸締は厳重に行い、被害防止につとめて下さい。

いままでの被害の多くは、昼間からガラス戸や雨戸を閉めきつたりあるいは新聞や郵便物が玄関の戸にはさまれているような家庭であります。

この予防には、一目でわかるような戸締はしないこと、留守が長引くようなときには必ず近所や交番駐在所に連絡しておき、怪しい者が来たら近所の人に知らせあうかまたは警察に連絡することであります。

一等に小田原銀座商店会
小田原商工まつり

市、小田原商工会議所、小田原市商店街連盟共催による小田原商工まつりは、国道改修工事完成の祝賀をかねて、さる九月三十日開催され、市内や近郷からつめかけた人々で賑わいました。

呼物の広告仮装行列は、五十一におよぶ市内各商店はじめ京浜地区の一流メーカーが、思い思いの趣向をこらした仮装宣伝カーなどを繰り出して市内目抜き通りを行進したほか、市内各所で美妓連総出の手踊が行われて小田原名物にふさわしい豪華なパレードが展開されました。

なお審査の結果、次のものが入賞し、一、二等には賞状、賞杯及び賞金が、三等には賞状並びに賞金がそれぞれ授与されました。

◇入賞
一等　小田原銀座商店会（南極探検隊）二等　東華軒（汽車）株式会社井上蒲団店（初夢）内亀商店（浦島太郎）三等　大同毛綱株式会社、講談社、国際通り商店会、あさひ、ライオン油脂株式会社、やま三商店、有限会社茶半木工所、報徳絹株式会社、八百政商店、千里パチンコ店

〔写真（上）趣向をこらした宣伝カー（下）美妓連の手踊〕

陸、海、空自衛官募集

防衛庁では、昭和三十一年度第四次陸、海、空自衛官の募集を次により実施いたしております。

◇応募資格
日本の国籍を有する心身共に強健な男子で昭和七年三月二日から昭和十四年三月一日（昭和三十二年三月一日現在満十八歳以上二十五歳未満）までの間に生れ、中学校卒業程度の学力を有する者。

◇採用人員
二等陸士約七、〇〇〇名、二等海士約九〇〇名、二等空士約三〇〇名

◇受付期間
九月一日から十二月十五日まで

◇受付場所
市役所庶務課（窓口四番）

なお、詳細については受付でお尋ね下さい。

建設だより

◎大下水排水路新設工事
（都市水利整備事業）

工事概要

緑、新玉、万年地内の水害を防ぐため、昭和三十年度において新玉一丁目地内の大下水から一号国道を横断した地点までコンクリート暗渠の支流を設置いたしましたが、今回はその第二期工事として万年一丁目八九番地先防波堤下から海岸線に向い延長九〇米にわたり幅員二米、深さ二米のコンクリート暗渠を新設するもので工事費は四百五十万円（うち国庫補助は三分の一）です。

なお工事はすでに十月一日から着工され昭和三十二年三月三十一日完成の予定です。

◎小田原早川線街路舗装工事
＝緑四丁目地内＝

昨年四月、小田原駅前整備拡張工事の附帯工事として小田原早川線の一部（延長八〇米）が舗装されましたが、今回の工事はその残部（旭ケ丘女子高校前まで）を舗装するもので工事概要は次の通りです。

工事概要
アスファルトコンクリート舗装
延長　一三五米
基礎の厚さ二〇糎のもの＝延長六〇米　舗装面積五八一、九平方米
基礎の厚さ一〇糎のもの＝延長七五米　舗装面積七二六、一平方米
工事費百四十二万円（うち国庫補助は百万円）
九月二十六日着工　十一月二十五日完成の予定。

◎多古白山線橋梁架設工事
＝白山神社入口＝

工事概要
橋の長さ四米　幅員六米
袖石垣三八、三平方米
工事費六十一万円　十月一日着工　十二月二十五日完成の予定

◎幸、万年線用水路改良工事
＝万年二丁目地内＝

工事概要

幸、万年線の地下中央に布設されている従来の石積用水が破損したので、昨年度において山本旅館前から海浜病院前までの間にヒューム管を埋設いたしましたが、本年度も昨年に引続いて海浜病院前から万年二丁目三九一番地先の間に延長二二六、九米にわたり内径六〇糎のヒューム管を埋設し、マンホールを十三カ所に設置するもの。

工事費は三十四万九千円で、すでに十月一日から着工され十一月十五日完成の予定です。

なお、今回の工事は本年度において国庫補助を得て同区間をコンクリート舗装するに先だち着工されたものです。

◎荒久小路線側溝新設工事
＝十字四丁目地内お花畑＝

工事概要
一号U型側溝＝延長一二一米　内幅三〇糎　内高四五糎
二号U型側溝＝延長三、八米　内幅三〇糎　内高四五糎
溝蓋二四八枚　排水管埋設延長四米
工事費十八万六千円　十月一日着工　十月三十一日完成の予定

◎入谷津線排水路改良工事
＝市営城山陸上競技場下＝

工事概要
排水路（土留石垣）延長一五七米
工事費三十五万八千円　九月三十日着工　十一月三十日完成の予定。

◎板橋香林寺川水路改良工事
＝板橋地蔵尊地内＝

工事概要
U型側溝　延長一〇三米
工事費二十四万三千円　九月二十八日着工　十月三十日完成の予定。

◎下府中支所増築工事

工事概要
事務所新築
木造二階建厚型スレート葺一棟
建坪十六坪
工事費五十四万八千円　九月二十四日着工　十一月十五日完成の予定。

◎城址公園野外劇場新築工事

◇城址公園野外劇場新築工事
工事概要
野外劇場新築　建坪二三坪五
工事費八十三万七千円　十月六日着工　十一月三十日完成の予定。

11月の納税

固定資産税
都市計画税　第3期分

納期限は11月30日

市税は納期限内に納めましょう

本年度も市税（市民税、固定資産税）を各納期限内に完納された方に報奨品を贈呈します